

産業連携ネットワーク 第2回幹事会 議事概要

開催日時		2012年7月11日(水) 10:00~11:00
開催場所		農林水産省 第2特別会議室
出席者	幹事	主婦連合会、株式会社三菱総合研究所、財団法人食品産業センター、一般社団法人日本経済団体連合会、社団法人日本農業法人協会、全国漁業協同組合連合会、全国商工会連合会、全国森林組合連合会、全国中小企業団体中央会、全国農業会議所、全国農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会、全国木材組合連合会、日本商工会議所、日本生活協同組合連合会
	事務局	農林水産省食料産業局産業連携課
	オブザーバー	経済産業省地域経済産業グループ地域経済産業政策課

議事概要

事務局より新幹事の紹介と資料に基づき活動報告及び今後の活動計画の説明後、意見交換。

(産業連携課)

ネットワークは多様な会員の交流の場を作るということで設立し、試行錯誤をしながら運営を行ってきた。交流会は、まず行政からの施策紹介から始めたが、会員の意見・要望を聞きながら、会員の取組みを発表したり、会員が意見を聞きたいテーマやプロジェクトなどを考える会員提案の交流会も開催しており、このような形でつながりを作っていくことが重要ではないかと考えている。

産業連携フォーラムは馴染みのないインターフェースで使用が難しい面があるが手引きなどにより対応していく。会員情報等に加えて6次産業化などの政策情報を充実させ、データベースとしての役割と、分科会の設置などで意見交換等をしやすくしていく。

幹事会は、これまで運営が固まっていなかったため、開催時期や回数が決まっていなかったが、今後は、期末に当年度の活動報告と次年度の活動計画の確認、中に年度前半の活動状況の報告と年度後半の活動計画の確認とし、年2回の開催としていきたい。

総会については、ネットワークは予算執行がなく、総会で予算案の承認をいただくようなことが必要ないほか、会員間の交流の機会は交流会やその他のイベントで確保していくことから、当面は開催しない。連携プロジェクトの推進を交流会等を用いて支援し、今後成果が見えてきたら、それらを発表するような場としての総会の開催を検討していく。

(幹事)

行政主導で会員を集め産業連携ネットワークをこれだけ盛り上げたのは成果と評価している。分科会やイベントも、みんなをつなごうという意識を感じる。第2回会員意向調査の結果のとりまとめもよく出来ている。

お願いしたいことは、中央で開催するとどうしても大企業の事業が中心となる。これらは注目しているが、一方で販路開拓等が必要な地方の中小企業には東京ではやはり出にくい。ぜひ各県毎の6次産業化サポートセンター等を活用し、地方で展開されるような産業連携ネットワーク活動にして欲しい。

(産業連携課)

地方の各ブロックでもネットワークの設立・活動が始まっており、ブロック単位での交流会なども今後開催される予定だが、さらに、農水省の6次産業関係の委託事業で各県に6次産業

化サポートセンターを設置し、各県単位の交流会等を開催していくこととしている。この各県単位の交流会には、産業連携ネットワークの地方の会員はもちろん、中央の会員も参加できる。こうした地方での交流会等もネットワークの活動として取り込んでいく。

(幹事)

交流会等に参加しているが、非常に活発な意見交換がなされており産業連携ネットワークの活動を評価している。

参加者のレベルはいろいろであるが、皆、出口の成果に関心がある。事案が具体的になればなるほど、個別のやりとりとなり、交流の場から見えなくなると推察されるが、成果があった場合には、ぜひその事業のプロセスを会員間で共有できるようにして欲しい。

(産業連携課)

まさにそのように考えているところ。もちろん途中段階では難しいが、一定の結果がでてきた後に、関係者の了解を得て、プロセスも含め可能な限り共有・公開したい。

以上